

令和2年度 第12回練馬区介護保険運営協議会 会議要録

1 日時	令和3年2月12日(金) 会議資料配布
2 場所	書面開催
3 出席者	<p>(委員 24名)</p> <p>市川会長、内藤会長代理、井上委員、岩月委員、腰高委員、嶋村委員、関委員、高原委員、竹中委員、中村(正)委員、石黒(久)委員、大羽委員、長谷川委員、増田委員、林委員、福島委員、山下委員、中村(哲)委員、中迫委員、大嶺委員、石黒(浩)委員、齋藤委員、酒井委員、小川委員</p> <p>(区幹事 5名)</p> <p>高齢施策担当部長、高齢社会対策課長、高齢者支援課長、介護保険課長、地域医療課長 ほか事務局 4名</p>
4 傍聴者	書面開催のため、傍聴者なし
5 議題	<p>(1) 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について</p> <p>(2) その他</p>
6 資料	<p>1 次第</p> <p>2 委員名簿および座席表</p> <p>3 資料1 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について 未定稿</p> <p>4 資料2 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案) 未定稿 〔参考〕</p> <p>1 練馬の介護保険状況について(11月分)</p> <p>2 練馬の介護保険状況について(12月分)</p>
7 事務局	<p>練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係</p> <p>TEL 03-5984-4584</p>

令和2年度第12回 練馬区介護保険運営協議会（書面開催）における意見および回答

案件(1)(2) 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）について・その他...資料1・2、参考資料1・2

意見者	ご意見	回答
委員	<p>介護予防等について 介護保険財源確保の観点からも、介護予防活動の重要性は強く感じるところである。実際に施策を講じる上では、コロナ禍の現状に対応したきめ細かな取組みを期待する。</p> <p>練馬光が丘病院跡施設について 練馬光が丘病院の跡施設を医療・介護を一体的に提供する施設計画に全面的に賛同する。今後、さまざまな媒体において、適時・適切な具体的内容や進捗状況等について適時・適切な情報開示を希望する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大については、外出自粛による高齢者の身体活動量の低下が懸念されています。介護予防活動（会食を除く）は必要な活動であると捉え、徹底した感染予防対策を講じたうえで実施していきます。参加者には機会をとらえて、具体的な感染対策方法を啓発するなど今後も工夫して実施してまいります。また、自宅で介護予防に取り組めるよう、区ホームページに自宅のできる運動を動画で紹介しています。今後、多様な取組について検討してまいります。</p> <p>練馬光が丘病院跡施設を活用した地域包括ケア病棟および療養病棟を有する病院を含む医療・介護の複合施設の整備については、区議会や介護保険運営協議会等で進捗状況を報告いたします。</p>
委員	<p>資料2の81ページ 介護保険法は、自立支援・重度化防止の視点が含まれており、自立支援・重度化防止の取組により、要介護度が下がるという事例もあるが、この事に触れられた箇所は存在しないのか目立たない。この点については介護事業者と介護サービス利用者を分けて考えなければならない。すなわち、介護事業者が介護サービス利用者に対して身体状態の改善を図り効果が出れば、介護報酬を多く得ることにつながり、介護事業者にとって利益が生じる。その結果、介護サービス利用者の要介護度の改善に積極的に取り組める効果もある。反面、介護サービス利用者の要介護度が下がると、利用していた介護サービスを受けられなくなる側面があり、不満につながっている。医療では病気が治癒すれば、とても喜ばれるのに、介護ではそうならない状況がある。</p> <p>介護保険料の上昇は不可避のものではあるが、そのような中で、要介護度を下げることができたならば、しっかり個人の健康状態に注目して、改善することができた個人への報酬的なものがあったらいいのではないかと考える。</p>	<p>介護サービスを利用することにより要介護度が改善することは、介護保険制度の理念である「自立支援と重度化防止」に合致するものと考えます。第8期計画の事業実施の際に、この理念を広く区民に周知できるよう検討していきます。</p> <p>区は保険者として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域包括ケアシステムを確立する一方、健康づくり・介護予防の強化、自立支援・重度化防止の推進、介護給付の適正化に取り組み、介護給付費の抑制に引き続き努めてまいります。</p> <p>介護保険は公的な相互扶助の制度であるため、現時点ではインセンティブの付与については考えておりませんが、高齢者一人ひとりが健康づくりや介護予防に取り組むことが、健康寿命の延伸と介護給付費の抑制、それに伴う介護保険料の上昇抑制につながることを引き続き周知してまいります。</p>

案件(1)(2) 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について・その他...資料1・2、参考資料1・2

意見者	ご意見	回答
委員	<p>資料1、2を通して、第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)をここまでまとめあげたこと事に感謝する。</p> <p>第8期計画(素案)に寄せられた意見総数195に対して、資料1の別紙のように真摯に対応され、この第8期計画(案)に至ったと思う。ご苦労も大きかったと思う。</p> <p>資料1 意見番号39のように「区の訪問事業は年1回しか...」と事実と違う意見(私もH16より電話訪問員、そして高齢者訪問支援員H21より現在もしていますが週1回の訪問が原則である)に対して、区の考え方欄に以前(H20?)から週1回のペースで「見守り訪問員」訪問している事実を書いていただきたい。資料2のP.52の(5)生活支援の3行目に(ほぼ)週1回(自宅を訪問し)と入れてはどうか。</p> <p>私事であるが、シルバー人材センターの会長を務めさせていただいている。随所にシルバー人材センターのことを言及していただきありがたく思う。可能であれば、資料2のP.79の下から7行目に、シルバー人材センターによる(介護施設業務補助事業)を入れていただきたい。</p> <p>資料2 P.54全体イメージ図の介護者支援に「介護学べるサロン」と「介護相談交流カフェ」を入れた方が良いと思う。</p> <p>「高齢者みんな健康プロジェクト」「介護学べるサロン」「介護相談交流カフェ」など、事業のネーミングが内容のわかるものになったのは良かったと思う。</p> <p>資料2のP.104の6行目に高校生や大学生を対象に加えてはどうか。また、情報発信だけでなく実地見学などに取り組んではどうか。</p> <p>資料についてのプリントの中に「総合的な取組みを全国に先駆けて開始します。」と記載があるが、この意気込みはさすが練馬区と思い、区民の一人としても誇らしく思う。新型コロナウイルスのワクチン接種についても、早々と「練馬区モデル」を打ち出すなど、他には見られない良い施策で、他自治体の手本になっていることは嬉しいことである。このコロナ禍の中、難局を乗り越えるのは大変なことだが、皆で乗り越えていきたい。この第8期計画(案)が、しっかり実施されることを心より願っている。</p> <p>P.S. 参考資料1、2も大変勉強になる。現場での色々な課題を対処しながら努力されている医療・介護関係の皆様特に感謝している。</p>	<p>第8期計画案の策定にあたり、介護保険運営協議会委員や地域包括支援センター運営協議会委員をはじめ、関係者の皆さまに多大なるご協力を賜りました。令和3年3月の第8期計画策定に向けて、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>長年にわたり見守り訪問のボランティア活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。区は、ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業として、地域包括支援センター職員(年1回以上)と委員からお話のあった区民ボランティアによる訪問(週1回)を行っています。「第1節 地域包括ケアシステムの概要」では、練馬区の地域包括ケアシステムの概要の紹介を目的としているため、訪問頻度等の記載は控えさせていただきますが、本事業の概要および実績について今後も周知に努めてまいります。</p> <p>「施策1 元気高齢者の活躍と健康づくり・介護予防の一体的な推進」の現状で高齢者の活躍できる場の一つとして紹介しています。介護施設業務補助事業ではシルバー人材センターの会員に活躍していただいているところですが、区が現在取り組んでいる各事業の概要の紹介を目的としているため、「シルバー人材センター」の追記は控えさせていただきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、「練馬区の地域包括ケアシステムの全体イメージ図」を修正いたします。事業名については、今後も区民の皆さまに事業の内容がわかりやすく伝わるよう努めてまいります。</p> <p>未来の介護を担う人材の育成については、ご意見の主旨を踏まえ、修正いたします。「実地見学」については、コロナ禍の状況を踏まえ、「情報発信」の取組の中で、実施を検討いたします。</p>

案件(1)(2) 第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について・その他...資料1・2、参考資料1・2

意見者	ご意見	回答
委員	<p>資料1 No.85</p> <p>認知症高齢者グループホームから特別養護老人ホームの入所を申し込んだ場合、入所まで3か月くらいかかっている方が多い。今年は3名入所した。最短は申し込みから入所まで約2週間だった。</p> <p>その他 参考資料1、2 P.1</p> <p>地域密着型サービスで定員があるものは、定員に対して稼働率または定員数の記載が右端にあると(現在、待機者なしが多いため)空き状況の把握がしやすいと思う。</p>	<p>認知症高齢者グループホームにおける特別養護老人ホーム入所待機者の状況について、情報提供をいただきありがとうございます。特別養護老人ホームについては、在宅での生活が困難な方全てが希望する時期に入所できるよう、令和7年に向けた整備目標を定め整備を進めてまいります。</p> <p>「練馬の介護保険状況について」に記載の実績につきましては、2か月前の数値(給付実績)であることを等を踏まえ、目安としてどのような数値を記載するのが適当であるかについて、今後検討いたします。(個々の施設の空き状況につきましては、「医療と介護の情報サイト」にてご案内しています。)</p>
委員	<p>第4章 第3節 施策2</p> <p>「ひとり暮らし高齢者を支える地域との協働の推進」の「施策の方向性と取り組み内容」〈ひとり暮らし高齢者等が安心して生活できるサービス体制の充実〉の「○高齢者だけでなく、遠方の介護者や若年の介護者等の家族を含めた支援ができるよう、ケアマネジャー向けの研修を実施します。」について賛同する。</p> <p>昨今のケアマネジャーは介護の現場経験を積んでケアマネジャー業務を担っているものが主流であり、介護技術に長けていても、対人援助技術や知識に課題があるように思う。ケアマネジャーが抱えている課題を解決していくことで、地域包括ケアシステムがより深化していくのではないかと。</p>	<p>家族介護者への支援については、家族介護者アセスメントの周知・啓発を図るとともに、ケアマネジャー(介護支援専門員)の方を対象とした研修の実施を予定しています。今後も、ケアマネジャーの資質向上を目的とした研修の充実を図ってまいります。</p> <p>地域包括ケアシステムの中核となる地域包括支援センターとケアマネジャーが連携して、家族介護者が抱え込まない支援に取り組んでまいります。</p>